

## 転換点にきた学校選択制 目次

### はじめに ——— 002

#### 第1章 ついに見直しが始まった ——— 007

##### 第1節 廃止を決めた群馬県前橋市 ——— 008

1—見直し、廃止へ 008/2—廃止への経過 010

##### 第2節 栃木県鹿沼市も見直しに着手 ——— 013

1—見直しに踏み切る 013/2—これまでの経過 014

#### 第2章 学校選択制は学力を向上させたか（東京都足立区の場合） ——— 019

はじめに 020/1—小学校の選択動向 話題性のある学校が人気を集める  
020/2—中学校の選択動向 人気を集める「足立の学習院」 022/3—選択制で  
足立の「学力が向上」「学力格差が縮小」は本当か？ 026

#### 第3章 全国状況 ——— 033

##### 第1節 全国状況：導入テンポ鈍る ——— 034

##### 第2節 注目すべき自治体 ——— 036

[1] 大分県大分市 ——— 036

[2] 大阪府寝屋川市 ——— 037

[3] 高知県高知市 ——— 037

##### 付・学校選択制 導入済・導入予定自治体一覧 ——— 040

##### 第3節 関東地域 ——— 046

[1] 東京都品川区 ——— 046

1—小中一貫校設置が変動要因 046/2—品川区の選ばれる学校 048/3—ついに  
統廃合の全面展開へ 054

[2] 東京都江戸川区 ——— 057

1—人気校が固定化：施設・伝統・学力調査の結果で選ばれる傾向 057/2—人  
気の中学校では倍率11倍、学力調査の結果が大きく影響 062/3—学力試験成  
績と選択動向の相関性分析 026

[3] 東京都港区 ——— 067

はじめに 067/1—小学校は隣接校方式、中学校は区内全域方式 067/2—人  
気小学校の固定化傾向 068/3—施設面の充実が大きな要因の一つに 069

##### [4] 埼玉県川口市 ——— 072

1—学校選択制の導入から現在まで 072/2—通学の便が小学校選択の大きな要  
因 073/3—一部活動が中学校選択の大きな要因 076/4—全国学力調査と学校選  
択 078

#### 第4節 北陸地域 ——— 081

[1] 富山県富山市 ——— 081

はじめに 081/1—08年度から中学校で導入・小学校は弾力化 081/2—断ト  
ツ人気の芝園中学校 082/3—交通の便 085

[2] 石川県金沢市 ——— 086

1—導入の経過 086/2—選択動向 08年度から流出者数を公開 086/3—学  
校選択の理由 088

#### 第5節 中国地域 ——— 090

[1] 広島県広島市 ——— 090

1—貫して希望者数の多い中学校 090/2—途中から希望者数が多くなったケ  
ース 094

[2] 広島県尾道市 ——— 096

1—人気校への集中変わらず 096/2—適正規模・配置とセットとなった学校選  
択制 098/3—学校選択の理由 088

#### 第6節 九州沖縄地域 ——— 101

[1] 長崎県長崎市 ——— 101

1—抽選によって際立つ矛盾 初めて抽選を実施 101/2—長崎市の学校選択制  
導入の経過 101/3—長崎市の学校選択制の現状 102/4—先行大都市と長崎  
市との根本的な違い 107/5—学校選択制の見直しに向けて 109

[2] 沖縄県那覇市 ——— 110

はじめに 110/1—通学区域の弾力化、二つの方法 110/2—選択状況はどうな  
っているか 112

#### 第4章 公立小・中学校の学校選択制：中間のまとめ ——— 119

##### はじめに ——— 120

##### 第1節 近代公教育と学校選択制；「教育の自由」と学校選択権 ——— 121

1—義務教育制度の成立と私立学校の設置・選択の自由 121/2—例外としての  
オランダ：全面的な学校選択制 123

##### 第2節 新自由主義政策と学校選択制の拡大：アメリカを例として ——— 125

1—新自由主義政策と学校選択制 125/2—学校選択制の拡大 128/3—セント  
ポール市とシアトル市の場合（現地調査） 131/4—公立学校選択制の価値をめぐ

って 136

第3節 日本における公立小、中学校の選択制度の導入と問題—— 138

1—公立学校選択制導入の過程 138／2—実態調査から見てきたもの 141

第4節 公立小、中学校の学校選択制度：批判と残された課題—— 146

あとがき—— 150